

菊桜クラブ会員各位

菊桜クラブ  
会長 西 康宏  
前会長 山本 俊樹

## 八中・小山台高校陸上競技班100周年記念会及び 平成6年度菊桜クラブ総会のお知らせ

拝啓 会員の皆様方にはお元気でお過ごしのことと存じます。

八中・小山台高校陸上競技班は節目である創班100年を無事に迎えました。今年は、クラブ総会と併せて、記念会を盛大に開催したいと存じます。例年同様に、現役の皆様の参加も頂く予定です。若手を始め多数の皆様のご参加をお待ちしております。

記

1. 開催日: **令和6年11月16日(土) 14:00～16:00**
2. スケジュール: **14:00にお集まりください!**
3. 場所 : **小山台会館3階大ホール 03-5721-6171**
4. 100周年記念会会費(当日に頂く予定です):  
学生 : 3,000円  
社会人以上 : 6,000円

お手数ですが、出欠のご返事は9月末日(必着)までにお願いいたします。

**返信用はがきは必ず返信をお願いします!**

住所の変更やメールアドレスの登録などは必ずご連絡ください。

### 年会費納入と寄付のお願い

クラブの活動や現役への支援は皆様の年会費で行っています。  
同封の郵便振込用紙か右の銀行口座まで忘れずにお願いします。  
また、100周年を祝して現役への寄贈品贈呈と  
パリオリンピックの七人制ラグビーに出場された陸上班OGの  
高校67回卒の三枝千晃さんへの激励金を送っており、  
通常の年会費と併せて、是非皆様よりご寄付を賜えると幸いです。

みずほ銀行 池袋支店

普通: 1341051

名義: 菊桜クラブ

年会費:	社会人	3,000円
	学生	1,000円
ご寄付:	一口	5,000円

### パソコンメールアドレスの登録のお願い

試合の予定やOB会のご案内などはメールでも差し上げています。

もし、メールの届いていない方は、必ず**パソコンのメールアドレス**を登録してください。  
特に、以前携帯のメールアドレスを登録していただいている方で、アドレス変更をされた方は必ず再登録してください。

ご 挨 拶

陸上競技班顧問 森島 啓

陸上競技班、顧問の森島です。私も小山台高校に着任して早いもので3年目に入りました。昨年度は新型コロナウイルスの影響から中止してきた夏季合宿も数年ぶりに復活し、年間を通して陸上競技に打ち込む良い1年間だったと感じています。先輩方から引き継いだ小山台陸上班魂を現3年生がしっかり引き継ぎ、後輩たちを育てつつ、自分たちも着実に実力をつけて参りました。また、「小山台」という世界だけで納まるのではなく、多くの学校や選手とも合同練習の機会を増やし、外の世界にいる強敵（ライバル）たちと切磋琢磨することにより例年以上の成長を遂げられたのではないかと思います。

昨年度は総体予選・選抜大会・新人都大会・都駅伝と多くの都大会レベルで活躍する選手が増えました。また駅伝では男子は都立校3番、女子も上位順位と総合力の向上が見られました。今年度は南関東大会出場は叶いませんでしたが、男子800mで1分55秒台、男子100mで10秒台、女子やり投で36m台、女子砲丸投で9m後半と東京都ランキングにおいても上位に入る選手が増えてきました、また久々に男女4×100mR、4×400mRとリレー種目全てで都大会進出を決めたということも大きい成長だと感じています。

3年生は7月いっぱい引退となりますが、また次の世代が彼らの魂を引き継ぎ、より強く盛り上がるチームにしてくれると言じています。私も微力ながら彼らの支えになっていきたいと思います。引き続き、応援よろしくお願い致します。

班長になって

澤田健吾

この度、78期の班長を務めさせていただいております澤田健吾と申します。

79期生も入班し、現在48名での活動となっております。

先日の都大会では決勝進出を果たすことができ、チーム力の向上が確実に感じられます。

今年度の目標といたしましては、都大会で勝ち切れるチームを作り上げていきたいと考えております。

OB会の皆様におかれましては、ご指導とご支援を賜りながら、私たちの成長を見守っていただければ幸いに存じます。

今後とも、OB会の皆様との絆を大切に、より一層の連携を深めてまいりたいと存じます。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

## 新 入 部 員 紹 介

中長距離 池上晴  
石田咲綾  
島田拓空

短距離跳躍 表和歌乃  
志村佳音  
玉置翠  
塚本未来  
中山義博  
成澤知希  
半谷彩華  
吉井鈴恩

マネージャー 赤池悠利佳  
佐々岡由奈

## 夏合宿の予定

7/22（月）～7/25（木）の4日間、新潟県南魚沼郡湯沢町で実施する予定です。

去年と同じ場所での実施のため、2年生が1年生をサポートし、夏合宿ならではの量と質を兼ね備えた練習、更にはチーム力の向上も目指し、取り組みたいと思っております。

\*\*\* 2023年 主な記録 \*\*\*

第75回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東京都予選会		5/13～14、20～21	駒沢
男子走幅跳	矢崎道大	予選	6m17
女子走高跳	金森爽子	予選	1m45
女子1500m	山下みなみ	予選	5' 02" 49
女子3000m	山下みなみ	予選	11' 11" 85
女子4×100m予選	和田真由子 木原楓子 久保田晴子 松田紗希子	予選	52" 81
女子100mH	松田紗希子	準決勝	17" 10
女子砲丸投	青木結愛	決勝10位	9m59
第44回東京都高体連選抜陸上競技大会兼東京都高等学校一年生大会		7/8～9	駒沢
男子800m	佐藤和隆	予選	1' 59" 16
女子1500m	山下みなみ	予選	5' 05" 46
女子4×100m	和田真由子 木原楓子 久保田晴子 松田紗希子	予選	52" 08
女子4×400m	久保田晴子 木原楓子 山口百花 木村里月花	予選	4' 20" 18
女子100mH	松田紗希子	予選	16" 62
女子走幅跳	久保田晴子	決勝9位	4m98
女子砲丸投	青木結愛	決勝9位	9m35
女子1500m(一年生大会)	川原崎柊子	予選	5' 44" 26
女子走幅跳(一年生大会)	堀野千尋	予選	記録なし
第75回東京都高等学校新人陸上競技対校選手権大会		9/18、23～24	駒沢
男子100m	上崎至高	予選	11" 32
男子800m	佐藤和隆	予選	2' 04" 01
男子1500m	佐藤和隆	予選	記録なし
男子5000m	元木剛志	予選	16' 07" 17
	森田陽一	予選	16' 18" 58
男子4×400m	藤森鳳汰 佐藤和隆 細貝千尋 上崎至高	予選	記録なし
女子800m	徳島優奈	予選	2' 42" 71
女子1500m	山下みなみ	予選	5' 18" 52
女子3000m	山下みなみ	予選	10' 55" 92
女子4×100m	末岡麻椰 木村里月花 山口百花 木原楓子	予選	53" 75
女子4×400m	木村里月花 木原楓子 山口百花 徳島優奈	予選	記録なし
第74回全国高等学校男子駅伝競走大会東京都予選会		11/3	荒川緊急用河川敷道路
1区(10,000m) 森田陽一      2区(3,000m) 細貝千尋 3区(8,107.5m) 佐藤和隆      4区(8,087.5m) 元木剛志 5区(3,000m) 小澤雄太      6区(5,000m) 富永琉斗 7区(5,000m) 瀬戸宏弥		総合12位	2° 23' 3"
第35回全国高等学校女子駅伝競走大会東京都予選会		11/3	荒川緊急用河川敷道路
1区(6,000m) 山下みなみ      2区(4,097.5m) 川原崎柊子 3区(3,000m) 坂井里菜      4区(3,000m) 山口百花 5区(5,000m) 徳島優奈		総合17位	1° 26' 31"

\*\*\* 2024年 大会予定 \*\*\*

支部春季競技会	4/1(月)	世田谷
都高校総体支部予選	4/20(土)～21(日)	大井
東京選手権	4/27(土)～28(日)	駒沢
東京都高校総体	5/11(土)～12(日)、18(土)～19(日)	駒沢
支部学年別大会	6/22(土)～23(日)	大井
都高校選抜一年生大会	7/13(土)～14(日)	駒沢
支部夏季競技会	8/18(日)	大井
支部新人予選会	8/31(土)～9/1(日)	大井
東京都高校新人大会	9/21(土)～22(日)	駒沢
東京都高校駅伝大会	11/2(土)	板橋区荒川戸田橋
支部秋季競技会	11/9(土)～10(日)	大井

高28回卒の山本俊樹先輩からバトンを渡され、第8代の菊桜クラブ会長に選任された西です。

小山台高校陸上競技班では短距離を専門種目としていました。高校1年生の時の顧問は岡野進先生、高校2・3年生の時の顧問は長澤光雄先生でした。入班時の陸上競技班は、岡野先生のご指導により、春の都大会で男子が22点(6位)、女子が7点の強豪校。私は人並み程度の体力をつけたいという動機で入班した未経験者でしたので、周りのレベルの高さに戸惑うことばかり。人生初レースとなった三校戦は400mを70秒台、次の十校戦は110mHでハードルに体当たり、夏の合宿では初日に左足のふくろはぎが二倍に膨れあがり即離脱と、落ちこぼれ部員でした。

1年生の夏が終わり、秋の新人戦の個人種目は予想通り支部予選で敗退。そんなある日、私は同期の本間（康彦）君と一緒に岡野先生に呼ばれました。私たち二人は、そこで岡野先生から「運動会のスウェーデンリレー（の400m）の走りが良かったので、新人戦都大会から4×400mRに出るように」とまさかの指名を受け、一期上の中島実先輩と同期の佐藤（智哉）君とリレーを組むことになりました。新人戦都大会で400mに入賞することになった本間君はさておき、当時の私はどう見ても実力不足で、予選と準決勝は一走でいずれも最下位でバトンパス。万事休すと思っていたところが、決勝が雨で1ヶ月後に順延。その期間の猛練習が功を奏して、決勝では3位でバトンパスし、優勝に貢献することができました。思い起こせば、これが私の陸上競技の原点です。このチームは翌年の都大会と南関東大会で優勝し、2年生で夢のインターハイに出場することができました。

長澤先生の下では、個人種目で記録を伸ばして、3年生の時には100mでインターハイに出ましたが、それ以上に印象深かったのは4×100mR。一走はチーム最強の佐藤君、二走は体が硬く直線が速い松島隆君、三走はコーナリングの名手の高橋直義君、バトンパスが下手な私がアンカーと、同期で揃えた最強の布陣は都でトップと自負していました。ところが、このチームはトラブル続きで、ついに一度もこのメンバーで走る機会がないまま、最後の南関東大会でも一人欠けて、あえなく予選落ち。3年生の私たちはこれで引退となるはずでしたが、長澤先生の強い勧めで、インターハイに出る明大中野と中大付属が出場する7月の都下戦まで現役を続けることになりました。結果は、胸の差で逃げ切って両校に競り勝ち、リベンジを果たして、当時の4×100mRの小山台記録を出すことができました。

歳月を経ても色褪せることなく思い出せるレースが誰にもあると思います。私の高校時代では、この都下戦での4×100mRがそれでした。インターハイ出場という夢は果たせなかったものの、都下戦で勝利した4名は誇りと自信を取り戻すことができました。このレースがあるからこそ、私は大学時代の4年間も陸上競技を継続し、65歳の今日まで競技を続けることができているのだと思います。

100年の伝統を誇る小山台高校陸上競技班のOB・OG会である菊桜クラブの会長は私を含めて8名しかおりません。こうした伝統あるクラブの代表として、微力ではありますが、小山台高校陸上競技班の現役の皆さんの活躍を支援し、併せて菊桜クラブの会員相互の親睦や知識の増進を図るべく、精一杯努めていこうと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。